

山口県高P連 会報

令和元年11月1日発行

19号

発行 山口県公立高等学校PTA連合会
〒753-0072 山口市大手町2-18 山口県教育会館2F
TEL 083-923-4761 FAX 083-923-4785
http://ymg-kpren.jp/ E-mail ymgt.koup@etude.ocn.ne.jp

いあいさつ

山口県公立高等学校PTA連合会

会長 銭廣 義和



味覚の秋、芸術の秋―皆様には充実した日々をお過ごしのことと存じます。平素より

PTA活動へのご理解に対し、厚くお礼申し上げます。

長年にわたり本会にご尽力いただき、県内にとどまらず中四国、全国でご活躍された板谷前会長の後任として力不足ではありますが、本年度より山口県公立高校PTA連合会会長を拝命いたしました、銭廣義和でございます。軽い気持ちで引き受けたのですが、時がたつにつれ、責任の重さ、そして令和最初の会長として身の引き締まる思いで日々過ごしておりますが、体は全く縮まりません。会員の皆様のご協力をいただき会がますます発展し、自身の腹囲が少しでも縮小するよう努めてまいりますのでよろしくお願い申し上げます。

現代の高校生を取り巻く環境は多様化し新たな課題が次々と現れます、そのような現代において子供たちの健全育成のためには、教育環境の整備、家庭教育の充実、小中高PTAの協働・連携を図るとともに、家庭・学校・地域及び関係機

関が協働体制を構築し課題に立ち向かうことが必要です。

山口県においては今年度もコミュニケーションスクールと地域教育ネット一体的に推進する「やまぐち型地域連携教育」の取り組みが推進されております。また来年度までにはすべての県立高校にコミュニケーションスクールが導入予定です。PTAとしても学校・地域としっかり連携して取り組んでいきたいと考えています。取り組みの充実を図るためには学校・家庭・地域で情報及び課題・目標・ビジョンの共有がしっかりとできるかがポイントとなります。今後も学校・家庭・地域社会の連携・協働体制を確立して、地域の活性化そして高校生の健全育成に向けた取り組みが実施できますようにコミュニケーションスクールの機能の充実を目指してまいります。

施設の老朽化における安全対策、また高校再編化による統廃合と公立高校の課題解決には単独の学校、PTAでは対処しきれない大きな問題も起きてきております。またSociety5.0に適応する人材育成のためのソフトの充実も急がれます。PTA連合会としては、高等教育の質の維持・向上が図られるようしっかりと行政、関係団体に働きかけてまいります。煩がられても「もの言うPTA」としてしっかり活動して

まいります。

原稿を書きながらTVで観戦していた、日本がスコットランドを破りラグビーW杯ベスト8を決めました。前へ前へと進む選手たちの姿は大きな勇気と元気をもらいました。史上初の快挙に選手たちに感謝と敬意を払いたいです。この快挙の礎は選手のみならずの皆さんの日々の精進の賜物でしょう。そして会場のサポーター、日本全国からの声や熱がさらに選手たちを後押しした、成果だと思っています。山口県公立高校PTA連合会では「PTAは子供たちの応援団」をモットーに活動しております。子供たちが少しでも前に進めるよう、夢に近づくよう、これからも声をからし、こぶしを振り上げ応援してまいります。皆様重ねて、本活動にご理解、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

【お知らせ】

【講演会・情報交換会のお知らせ】

※講演会を予定しています
日時：令和2年1月24日(金)
15時30分～17時 講演会
18時00分～ 情報交換会（教育懇談会）
会場：ホテルかめ福（山口市湯田温泉）

令和2年度 山口県公立高等学校PTA連合会 総会

日時：令和2年6月5日(金)13時～
会場：セントコア山口（山口市湯田温泉）

令和2年度 第62回中国・四国地区高P連大会 広島大会

日時：令和2年7月10日(金)
会場：広島市文化交流会館（広島市）

令和2年度 第70回全国高等学校PTA連合会大会 島根大会

日時：令和2年8月20日(木)21日(金)
会場：くにびきメッセ、松江市総合体育館他（松江市他）

第72回山口県高P連総会

6月7日(金) ホテルかめ福で開催されました。

協議題審議後、教育委員会所管事項説明として①「運動部活動の在り方に関する方針」について②いじめの防止等に向けた取組について、担当部署から説明をしていただきました。続いて、全国高P連賠償責任補償制度及び山口県高P連高校生総合保障制度について、担当保険会社より説明をしていただきました。

なお、総会では次の議案が可決承認されました。

- 平成30年度事業報告並びに収支決算
- 平成30年度見舞金収支決算
- 平成30年度研究討議基金収支決算
- 令和元年度役員改選
- 令和元年度公立高等学校PTA連合会会則の一部改正
- 令和元年度事業計画並びに収支予算案
- 令和元年度見舞金収支予算案
- 令和元年度研究討議基金収支予算案

総会では次の皆様が教育長表彰・会長表彰を受賞されました。(敬称略)

山崎 隆司(柳井商工)
鳥枝 正(田布施農工)
河村 聡子(徳山商工)
道山 和江(南陽工業)
長見 敦宏(宇部西)
長岡 敏信(長府)



会長表彰受賞者

宮内 由美子(下関中等)
松下 晋治(豊北・下関北)
梅津 史睦(岩国)
嶋村 絵里(岩国総合)
栗原 浩幸(岩国工業)
長尾 健彦(周防大島)
宇野 信博(光)
小倉 美緒(光・定時制)
西田 亜紀(熊毛北)
瀬来 輝夫(下松)

山口県高P連組織の概要

- 【名称】山口県公立高等学校PTA連合会
【構成】山口県内の公立高等学校PTAをもって組織
全日制-県立49校、市立1校、分校8校の計58校
定時制-県立14校、市立1校の計15校
【目的】各単位PTA相互の連絡提携を図り、相協力して高等学校PTAの発展と教育の振興を図る。
【主な事業】1 各単位PTA間の連絡提携(委員会、総会、地区別研究・連絡協議会等)
2 高校教育の振興に関する調査研究(全高P連と連携～アンケート調査等)
3 文教政策への建議と意見の公表(全国、中・四国大会での協議、要望書等)
4 教育、行政機関・教育諸団体との連携(諸大会参加、事業への協力・後援等)
5 見舞金事業
【機関】総会(年1回、6月開催) 常任委員会(年5回、5・7・9・2・5月)
【役員】令和元年度

顧問 板谷 正(前県PTA連合会会長) 留任
会長 銭廣 義和(熊毛南高校PTA会長) 新任
副会長 筑本 浩行(岩国工業高校PTA会長) 新任
金沖真須代(宇部中央高校PTA会長) 新任
佐々木義徳(下関商業高校PTA会長) 新任
開地 元典(山口中央高校校長) 新任
監事 小林 孝光(防府西高校PTA会長) 留任
梅田 和乎(山口中央高校PTA会長) 新任
幹事 白石 義徳(山口高校教頭)
阿部 勇雄(山口中央高校事務長)

常任委員
岩国地区PTA会長 竹 島 仲 治(岩国商業)
校 長 河 口 郁 史(岩国)
柳井地区PTA会長 黒 瀬 康 太(柳井)
校 長 高 橋 隆 等(柳井)
周南地区PTA会長 澤 田 隆 一(徳山)
PTA会長 富 田 博 之(南陽工業)
校 長 椎 原 上 彦(徳山)
山防地区PTA会長 村 上 裕 隆(山口)
校 長 河 佐 東 隆 一(防府)
長南地区PTA会長 来 住 幸 一(宇部西)
PTA会長 西 村 安 彦(宇部)
校 長 武 福 雄 二(下関中等)
下関地区PTA会長 山 根 敬 子(下関西)
校 長 佐 藤 淳 和(大津緑洋)
長北地区PTA会長 竹 村 林 之(萩)
校 長 栗 河 村 和 之(山口)
公立高等学校長会会長 栗 河 村 和 之(山口)
会長所属校校長 栗 河 村 和 之(山口)
公立高等学校事務長部会長 栗 河 村 和 之(山口)

【事務局】山口市大手町2番18号 山口県教育会館2F
(TEL: 083-923-4761、FAX: 083-923-4785)
事務局 長 山本 貴司 事務局 員 清水 典子

三池 孝道(華陵)
村本 賢治(下松工業・定時制)
清水 芳将(徳山)
神田 博至(南陽工業)
吉武 恭紀(防府)
橋本 親政(防府・佐波)
岩崎 眞治(防府商工)
藤井 浩子(防府商工)
上田 一恵(山口・定時制)
小野 淳志(宇部商業)
江田 方志(宇部商業)
湯浅 和之(宇部工業)
池田 哲也(小野田)
池部 幸男(小野田工業)
切田 紀代子(田部)

岡田 昭宏(豊浦)
関本 和夫(下関南)
村尾 晋(下関工科)
篠田 信二(下関工科・定時制)
宮木 典子(大津緑洋)
長尾 修(萩・奈古)
上田 優子(萩商工)
受賞されました皆様、大変お疲れ様でした。
なお、総会後の会長会議、これに続く教育懇談会では昨年同様多くの会員の皆さまに出席をいただき会員同士親しく意見交換・情報交換ができました。



第61回中国・四国地区 高等学校PTA連合会大会鳥取大会報告

県高P連副会長(下関商業高校会長) 佐々木義徳

第61回中国・四国地区高等学校PTA連合会大会鳥取大会が、令和最初の大会として、7月12日に鳥取県鳥取市のとりぎん文化会館梨花ホールにて

「ひらけ翼ーはばたけ未来ー」巢立ち応援、親力！」の大会テーマのもと、1500人以上の参加者が集い盛大に開催されました。

鳥取市までの道のりは長く、私は新下関駅からこれまで広島までの各駅停車で山口県のPTAの参加者を各駅で迎えながら広島乗り換えで岡山まで行き、岡山からは特急いなばで鳥取市まで約3時間半余りをかけて参りました。

特急いなばに乗って私は車両の最後部の座席で目を瞑り、スマホにイヤホンを通して音楽を聴いていました。ふと目を開けると乗客のみんなが立ち上がっていて、一瞬なにか事件でも起きたのかと慌ててイヤホンを外し、どうした？どうした？と聞いてみると、次の駅で進行方向が変わるので座席を180度回転させるという放送があったようで、そのためにみんな立ち上がっているとのことでした。

した。事件でなくほつとしたのと同時に進行方向が変わる列車というのでも珍しいなと思いついてしまいました。最後尾に座つた私は、進行方向が変わつたのでここからは最前列になった状態で、のどかな田園風景や、緑の濃い山々ばかりの中、のんびりとした時間を経て、鳥取駅に着きました。

天気予報では雨の確率が高くなつていましたが、傘が必要なほどの降りではありませんでした。

さて大会ですが、フリーアナウンサーの濱井丈栄さんの美声による司会のもとで始まり、国歌斉唱の後、中国・四国地区高等学校PTA連合会の西川昌孝会長のあいさつ、続いて一般社団法人全国高等学校PTA連合会の牧田和樹会長あいさつ、鳥取県教育委員会の山本仁志教育長のあいさつがありました。

来賓から、平井信治鳥取県知事が祝辞を述べられました。知事は、鳥取県は非常にたくさんさんの星が見えることから、星取り県と呼んでおり、なぜ星がたくさんみえるか？それは明かりが少ないからです、など自虐ネタをふんだんに取り入れながら、ユーモアいっぱい鳥取県の良さをアピールされました。知事は終始なにも原稿を見ずにすらすらとお話され、私はその話術に引き込まれてしまいました。

そのあとに祝辞を述べられた鳥取市長は、話づらかったらうなと同情を覚えしました。

休憩をはさみ、「バカの壁」でも有名な養老孟司氏が「養老流 親と子の話」

くたくましく生きる力」をテーマに講演されました。

片手ポケットで歩き回りながら話をされているのを見て、さすが講演慣れしているなと感じました。

講演の内容は、ご本人と母親とのかかわりについてのお話でしたが、お話が高度なものでしょう、凡人の私にはイマイチ内容を理解することが難しかったです。

テーマに沿ったお話だったのかさえよく分かりませんでした。テーマについての最終のお言葉は、「まあ皆さんでしっかり考えてやってください」でした。なんて自由なんだろう、これが物書きの姿なんだろうと感じました。

昼食をはさみ、午後からは高校生による発表があり、最初に鳥取県立岩美高等学校による、「街がスウィングする♪」というテーマでジャズの演奏でした。前身は吹奏楽部でBlue martin Jazz Orchestraというバンド名で2009年7月に結成されたそうです。色々な大会に参加し、各賞も受賞した経験もあり、とても素敵な演奏でした。

次に鳥取県立鳥取湖陵高等学校による「戦国の武士を詠う」をテーマとした吟、舞、剣が披露されました。古式ゆかしく日本の文化を感じさせる、とても厳かな時間と感じました。

最後に鳥取県立八頭高等学校 書道部による本大会の「翼ーはばたけ未来ー」をテーマにして、書道パフォーマンスが行われました。平成21年に書道の愛媛大会で三島高校のパフォーマンスに感銘を受けた顧問の先生がその後、鳥取東高校

で始められ八頭高校に継承されているようです。生徒の代表で、「10年前、先生と他県の方とご縁が今の私たちに繋がっているで全ての方に感謝している」と言っていました。その言葉通り思いの詰まった迫力のあるパフォーマンスを披露していました。

休憩を挟み、研究協議として、広島県から広島県立三次中学校・高等学校がテーマ「親の背中」〜こどもの未来のために〜、岡山県から山陽女子中学校・高等学校がテーマ「愛と奉仕そして感謝」〜133年をふりかえって〜、鳥取県から鳥取県立鳥取東高等学校がテーマ「大切にしたい思春期の食生活」〜親から子に伝える生きる力〜の発表が行われました。各発表者の皆さんは、その地域の特色や学校の歴史などを踏まえてさまざまな活動による親、子、地域・学校、の関係をとても熱心に分かりやすく説明され、たいへん勉強になりました。こういう発表を、今後はその場に行けない人の為にも、動画などで配信できれば、より多くの方々に活動内容が伝わり、PTAに対しての関心や、取り組み方の周知が行われ、子供たちの為にながでできるかを考える良い機会になるのになと思います。そして今後益々進んでいくであろう少子化の波に向かつて、一人一人がなにをするのか、なにができるのかを考え、既成概念にとらわれず、思い切った行動により、より子供たちのためになるようPTAは努力していくべきだろうと考えました。

第69回全国高等学校PTA連合会大会 京都大会報告

県高P連副会長（宇部中央高校会長） 金沖 真須代



令和元年8月22、23日の2日間、京都市勤業会館みやこめっせ及びロームシアター京都にて、第69回全国高等学校PTA連合会大会京都大会が開催されました。全国より約1万人の会員が集い、山口県からは125名の参加がありました。

当会館は平安神宮隣地で、参道を通り会場入りました。大会1日目の開会前のアトラクションとして出迎えてくれたのは、京都府立工業高等学校吹奏楽部『Mambou Jazz Band』による

ジャズ演奏。華やかさと鮮烈さに胸が高鳴り始めました。

開会式は、永岡佳子文部科学副大臣をはじめ、渡辺博道復興大臣、西脇隆俊府知事、袴姿の門川大作市長と多くのご来賓の方々のご列席の元、開催されました。

今大会テーマは、

「Kyoから！未来を拓く」

〜受け継ぎ、創る新たなストーリー〜
「これまでのPTA活動の財産を継承し、今後のPTA活動の発展向上を期待して、互いに学び語り合い交流する中で、保護者として、大人としての意識を高め行動していきたい。」と実行委員長より

歓迎のあいさつがあり、その後の表彰式では、優良PTA文部科学大臣表彰を下関中等教育学校PTA。全国大会会長表彰（個人）を徳山商工高等学校の河村聡子さん、宇部西高等学校の長見敦宏さん、長府高等学校の長岡敏信さん（3名とも前県連副会長）が受賞され、同（団体）を徳山商工高等学校PTA、宇部中央高等学校PTAが受賞。さらに、役員表彰者に、全国理事及び中国四国地区会長として長年兼任された、板谷正顧問が受賞されました。受賞さ

れた個人、団体のみなさんおめでとうございいます。

引き続き

6会場で分科会が開催されました。「よくできるとは

どういうことか？」、「子供たちを育む環境づくり」、

「すぐその未来の仕事」、「高校生の人間関係について考える」、「情報教育を体験する」、「我が子の進路選択にどう向き合う？」が各会場でテーマに掲げられ、新ガイドラインに沿った形式（参加型の研修会）で行われました。

私は第1分科会の「よくできるとは」ということか？」に参加しました。講師は歌人で物理学者である和田和宏氏。基調講演では、「現状の教育は、試験の成績が良い（早く正解に辿り着き答えられる）、偏差値が良い（いい大学に行ける）、理解力が高い（豊富な知識を持ちそれを応用出来る）、もっと言うと、小中高校までは正解は必ず1つであり、暗記した正解を答えられるのがよくできることになってしまっている。」

「私は、湯川秀樹に憧れて京都大学へ進学した。入学式で奥田東先生（当時の総長）から『京都大学は、特に何も教えません』と言われた事を振り返り、



大学は、学習から学問へ。文字通り、学んで問う最後の教育の場である。社会へ出たら、誰も正解を知らない。そもそも正解があるかどうかからない。答えのない問題や想定外に自分がどうアプローチするかが学ぶ意味。教えられたことは果たして正しいのかと疑ってみる。」と述べられたことが、印象に残りました。

最後は、歌人らしく短歌を用いて、当たり前を問い直すことの難しさについて、考えさせて頂きました。

1日目を終え、都ホテル京都八条にて山口県教育懇談会が行われました。88名の参加があり他校の会長さんや役員さん先生方との交流を深めました。

大会2日目の開始前アトラクションでは、京都市立塔南高等学校吹奏楽部『塔南マーチングバンド・ザ・グリフォリンズ』による演奏に続き、平安時代の貴族を連想させる衣装をまとった京都府立鳥羽高等学校披露研究部が和歌を節をつけて詠み上げる披露を披露し、京都らしさを醸し出しました。

メインの記念講演は、日本電産(株)CEOの永守信重氏による「学校教育・家庭教育に思うこと」と題してのお話でした。

永守氏は「18歳でどの大学に入るかで人生が決まってしまうかのような価値観はすでに通用しなくなっているにも関わらず、未だにブランド主義、偏差値重視の進路選択から抜け出せていない。一流大学に進学し、一流企業へ就職したとしても、明るい未来が保証される時代ではない。大学に合格するテクニックを身に

付けるより、夢を語り、その実現のために行動できる人材を育てるべきだ。」

「保護者に向けて」親は自分の子どもが何が好きで、何をやりたいかをちゃんと掴む。きちつと方向を定めるためには、子どもの話をしっかりと聞き、優しく見守り、信じていることが肝心で、子どもと共に成長していくことが大切だ。」と主張されました。

さらに、大学教育の変革を訴えられた75歳の永守氏の座右の銘は「情熱・熱意・執念」。何歳になっても理想を掲げ、夢を実現させる強い意志と行動力が若さの秘訣だそうです。最近の講演会で

は珍しく、パワーポイントを活用しない講演で、年齢を感じさせない情熱あふれる永守氏の魅力に参加者は引き付けられ、『世界NO1の総合モーターメーカー』に成長させた創業者が語る説得力に感銘を受けました。

今回は、歴史の大きな節目、「令和」の開幕にふさわしい大会で、とても有意義な2日間でした。参加されたみなさん大変お疲れ様でした。この大会で得た様々な情報や感動を共有し、山口県高P連活動、地域活動に活かしていきたいと思えます。皆様、今後ともどうぞよろしく願います。

祝 表 彰

第69回全国大会（京都大会）で次の団体・個人が表彰されました。

おめでとうございます。

◇全国高等学校P T A連合会会長表彰
(団体の部)

山口県立徳山商工高等学校P T A

山口県立宇部中央高等学校P T A

(個人の部)

河村 聡子 氏 (山口県公立高等学校P T A連合会前副会長)

長見 敦宏 氏 (山口県公立高等学校P T A連合会前副会長)

長岡 敏信 氏 (山口県公立高等学校P T A連合会前副会長)

◇役員等表彰

板谷 正 氏 (山口県公立高等学校P T A連合会前会長)

◇優良P T A文部科学大臣表彰

山口県立下関中等教育学校P T A

令和2年度 主要行事予定

月	日	行 事
5	29(金)	第1回常任委員会 (やまぐちリフレッシュパーク)
6	5 (金)	山口県高P連総会 (セントコア山口)
7	10(金)	第62回中国・四国地区高P連大会広島大会 (広島市)
	27(月)	第2回常任委員会 (やまぐちリフレッシュパーク)
8	20(木)~21(金)	第70回全国高等学校PTA連合会大会島根大会 (松江市他)
9	4 (金)	第3回常任委員会 (やまぐちリフレッシュパーク)
R3.2	12(金)	第4回常任委員会 (やまぐちリフレッシュパーク)

高校生の活躍

台風一過 笑顔 晴れ晴れ

山口県立光高等学校 ヨット部顧問 橋本健太郎



令和最初の全国高校総体（インターハイ）において、光高校ヨット部女子がコンバインド種目で優勝を果たしました。女子種目としては平成13年以来、実に19年ぶりのインターハイ制覇となりました。

台風10号の影響を受け、公式練習（トライアルレース）が中止となり、日程を繰り上げて8月12日よりレースが始まるという異例の大会となりました。本来は8月13日～16日まで全7レースで行われる予定であったインターハイ。自然に左右されるヨット競技とはいえ、何レース行われるかも分からない、何日までレースができるかも分からない、言いようのない不安とプレッシャーを抱えて、生徒たちは高校生活総決算のレースに臨むことになりました。「レースを実施するかどうかは、自分たちでは決められない」「目の前のレースに全力を注ぐ」「二喜一憂しない」。自然の状況を受け入れ、自分たちの努力でできることに集中しきった生徒たちを誇りに思います。

インターハイ女子種目での光高校の活躍は、これまでの先輩たちの悲願でもありました。平成26年以降の5年間で光高校の男子チームは3度のインターハイ制覇を達成しました。国体に至っては6年連続で優勝し、将来のオリンピック選手を嘱望される優秀な選手が輩出しました。一方で女子チームは昨年まで3年連続で予選敗退。昨年は同点で、昨年は2日目に逆転されて涙をのみました。「インターハイ・コンバインドでメダル獲得（3位入賞）！」。今年の光高校ヨット部の目標ですが、女子部員にとっては、未だ見たことのないインターハイ出場こそが切実な願いだったかもしれません。それが、優勝までしてしまうとは…。

2018・2019シーズン。光高校ヨット部は新たな取り組みをスタートさせました。ヨット部内で男子チームと女子チームに分け、競い合いながら「チーム作り」を進めていきました。練習も別。大会の時も別。それまで優秀な男子部員に懸命についていくのが

常だった女子部員が、イキイキと活動しました。女子部員間で意見を出し合い、先輩・後輩を越えて励ましあい、助け合い、自分たちのチームを作り始めました。昨今の流行はアクティブ・ラーニング。生徒がいかに主体的に活動していくように仕向けるか？時代は移ろい、さまざまな手法が紹介されていますが、育みたい力はいつでも一緒です。光高校の女子部員たちは見事に、自分たちのチームを作り上げました。想いを共有した、彼女たちだけの世界がそこにはあったと思います。

インターハイ会場には保護者の方の姿もありました。少し離れたところから、心の中で声援を送っておられました。ヨットという右も左もよく分からない競技。夏も冬も、雨の日も風の日も、クタクタになって帰ってくる我が子。心配で心配で堪らないことばかりだったと思います。そっと見守り、力強く支えていただき、ありがとうございました。でも、私は知っています。揃いのユニフォームを作り、遊園地に遊びに行き、和歌山旅行を楽しんでいたことを…。素敵なサポーターの世界が

あったことを！

令和元年8月16日。台風10号が過ぎ去ったあとのインターハイ閉会式。女子部員、男子部員、保護者の方、それぞれの世界が重なり合った光景は素晴らしいものでした。大きな大きな感動をありがとうございました！



「夢の舞台」〜書道パフォーマンス甲子園に出場して〜

山口県立山口高等学校 書道部顧問 有富 由美

「私を夢の舞台に連れてきてくれてありがとう」・・・書道パフォーマンス甲子園実行委員会から、本番前日交流会のスライド用に、顧問からの一言を、といわれ、迷い無くこの言葉を綴りました。

書道パフォーマンス甲子園とは、愛媛県四国中央市を会場に、全国からブロック予選を勝ち抜いた20校が一堂に会し、書とパフォーマンスの演技を競う大会であり、今年で12回目を迎える、書道パフォーマンスとしては唯一の全国大会です。その発祥は、愛媛県立三島高等学校書道部の生徒が、町おこしの一環として、紙のまち三島をPRしようと、特産品の紙に書道パフォーマンスを行って人々に披露したのが始まりとされています。それから12年、この大会は全国7ブロック106校が参加する大規模なものへと発展し、全国の書道部生徒の憧れの舞台、文字通り「甲子園」とネーミングされました。

ブロック予選は演技をDVDに録画されたもので審査されます。山口県が属する中国ブロックは、過去の大会で上位入賞した強豪校がひしめくレベルの高いブロックであり、本校が入り込む隙は無いかと、半ば諦めつつも一縷の望みをかけて4年前からエントリー



しています。過去3年間は見事に玉砕！玉砕されつつも反省を生かし、自分たちの弱みを分析して、少しずつ進化させ、4年目の今年もめげずに高い壁に挑戦しました。DVDを提出してから、もしかしたらいけるかも、という期待を打ち消すように1ヶ月を過ぎました。運命の6月18日、事務局から受けた電話の「おめでとうございます。本戦出場です。」という言葉に、驚きと喜びで受話器を持つ手の震えが止まりませんでした。これまで流してきた悔し涙が、今年は随喜の涙となりました。何度も何度も生徒と映像で見て憧れていた夢の舞台、そこに立てるのだという喜び。何事も諦めず努力すれば越え

られない壁はないことを学びました。

本戦前日から四国に入り、リハーサル、用紙の貼り付けを済ませて、夜の交流会へ。そこでは書道に青春をかける高校生達の溢れ出るエネルギーや、絶対に優勝する！という気迫に圧倒され、同時に自分達に不足しているものにも気付かされました。危機感を感じた私達は、宿舎に戻ってから私の小さな部屋に12人が集まり、納得のいくまでミーティングをしました。

令和元年8月4日、この日は書道教師として最高の1日となりました。憧れの舞台は想像以上にすばらしい場所でした。初出場の本校は見るもの聞くものすべてが新鮮であり、名高い強豪校の舞台はもちろん、舞台裏も見られたことは大きな収穫でした。本番の出場順はちょうど真ん中の10番目。開会式の後、次々に隙間無くパワフルな演技が披露され、控え室のモニターを見ながら、緊張感はピークに達し、自分たちの本番を迎えました。6分間はあっという間でした。できあがりは決して満足のいくものではありませんでしたが、演技終了後の生徒達は、感激で涙する者、晴れやかな笑顔の者と様々でした。部長は「今までいろいろきついこと言っでごめんね。協力してくれてありがとう。」と、涙でつまりながら部員に感謝の言葉を述べました。その涙を見て、この生徒が抱えていたものの

重さを知り、熱いものがこみ上げ、涙がこぼれました。

毎晩遅くまで墨で真っ黒になりながら自分との戦いに耐え、頑張った生徒達、それを支えて下さった保護者の皆様、悔し涙を流して夢を諦めた歴代書道部の先輩達、今回ここに來られたのはそんな皆さんのおかげであり、あらためて「ありがとう」の言葉を送りたいと思います。そしてこの経験を生かし、来年さらに進化した姿を披露することを約束してご報告とさせていただきます。



学校紹介

山口県立徳山商工高等学校 前PTA会長 河村 聡子



緑と光に 包まれた環境

本校は、昭和24年に徳山工業高校と徳山市立高校商業科が統合して県立徳山商工高校として統合された後に、昭和42年に徳山工業高校と徳山商業高校に分離し、その後平成16年に再び徳山商工高校に統合されるとい

う歴史を持っています。現在は、旧徳山工業高校の敷地に商業棟が新設され、「新生」徳山商工高校として発

足して13年目を迎えています。学科構成としては、商業科として総合ビジネス科、情報ビジネス科の2科を、工業科として機械科、電子情報技術科、環境システム科の3科を有し、それぞれ各40名、1学年200名、全校で600名の生徒が在籍し、事務職員も合わせると全教職員数は80名近くになります。環境システム科は2年次に環境土木コースと工業化学コースに希望で分かれます。最近は、工業科に女子生徒が増えているのも特徴です。1年次は各8名ずつ計40名の五クラスから成る「ミックスホームルーム」を実施し、学科の枠を超えた交流を図っています。その成果もあつてか学科や性別に関わらず生徒の仲が良いのが特徴となっています。

学校の周辺には高校野球も実施される津田恒美メモリアルスタジアムや陸上競技場、キリンビバレッジ体育館、周南緑地公園などの施設があり、周陽小学校と周陽中学校も隣接しています。緑と光に包まれ、美しく静かな環境に囲まれています。その落ち着いた環境の中で、生徒は勉強にも部活動にも意欲的に取り組んで力を発揮しています。

新生から10年を経て 充実期に

「学校のチャレンジ目標」として、3C（頭文字Cで始まる3つの言葉）の精神を掲げ、チャレンジ（挑戦する）、チェンジ（変化する）、クリエイト（創造する）を繰り返しながら、学校全体が充

実期に入っていることを感じさせます。

部活動では、「0.9秒の奇跡」で全国版のテレビ放送でも報道され有名になった女子バスケットボール部が、4年連続で全国高校総体への出場大会を果たしています。また、女子バレーボール部は、誠英高校の30年連続全国高校総体出場を阻んだの優勝をこのたび決めて、山口県高校総体予選のトップニュースになりました。本校体育館フロアは、男女バスケットボール部、男女バドミントン部、男女ハンドボール部、バレーボール部と七部も使用する部があり、交替制で使用せざるを得ない状況です。体育館を使えないときは、学校の正門を出て正面にある周陽公園に向かい、ストレッチや筋トレ、ランニングをして時間を有効に使っています。団体運動部においては、私立高校に伝統強豪校が多く、それを制しての公立高校の優勝という快挙に驚きの声がよく寄



せられます。その他、女子ソフトテニス部が個人戦での全国高校総体出場を勝ち取り、男子ハンドボール部も中国大会出場を重ね全国大会出場も射程に入れています。また、文化部の活動も盛んで、トータルビジネス部や囲碁部が全国大会にたびたび出場しています。昨年度、ワープロ部、ものづくり部も中国大会に出場し、吹奏楽部も金賞の常連となっています。

また、中高連携の取り組みは県内でも優れた取り組みだと注目を集めています。周南市・下松市・光市の中学校への出前授業は中学生の進路学習の貴重な情報となっていると喜ばれていると聞いています。また、最近では連携を小学校にも広げ、隣接する周陽小学校でも土木の実験や化学の実験の出前授業を行い、小学生からたくさんの感謝の手紙をもらいました。3学期の2月には、周陽中学校の1学年全員を招いての中高合同課題研究成果発表会も成功させています。徳山商工高校に親しみを感じてもらおう、このような取り組みの積み重ねを経て、本校を志願する中学生が年々着実に増えるという、嬉しい状況も生まれています。



信頼されるPTA活動を 目指して

PTAの活動指針としては、「強制されるのではなく、無理をしないで楽しくやろう」ということと、「少数者の声も大切にしよう」を常に心がけています。そうして、本部役員は、保護者の皆さんから信頼される活動でありたいと願っています。

本校PTAでは、規約で各クラス2名計30名のクラス役員を選出し、その中から8名程度の本部役員を決めることとなっていますが、前年度クラス役員をされた方が、年度当初のクラス役員会で、「前の年に楽しかったから、また引き受けました。」と言ってくださる方が少なくありません。こうした方々が、PTAの各種行事に友達を誘ってきたださるので、かなり賑やかに気持ちよく活動できていると自負しています。会長が、県内でもまだ数少ない女性の高校PTA会長ということもあって、皆さんが進んでお力添えをしてくださっているよ

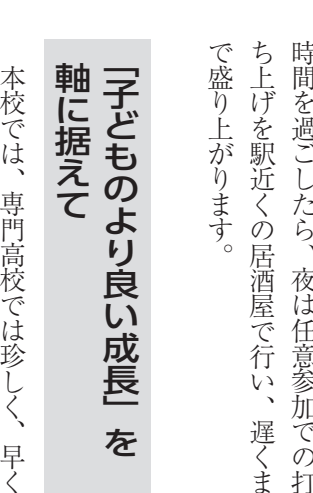


うにも感じています。大変ありがたいことで、いつも感謝の気持ちを忘れないようにしなければと自分に言い聞かせています。

PTA交流の場を 盛り上げて

PTAが主体で取り組む大きな行事としては、「企業見学研修会」と「商工祭PTAバザー」があげられます。前者は10月の中旬の2学期中間考査中に、日帰りのバス旅行ができる程度の場所に、工場見学と商業施設見学にでかけるというもので、大型バスが満員になるほどの参加になります。昨年度は、美味しいクリームパンで有名な、広島の八天堂の製造過程を直に見ることができ、その製造へのプロとしてのこだわりも聞かせて頂きました。そして、すぐそばにあるレストランでプチ贅沢なランチも楽しめました。商業施設見学では、新しくできた大型アウトレットモールに行き、膨大な広さの駐車場を始め、その店舗の種類の多さと規模の大きさに感嘆の声をあげながら、皆でショッピングを堪能しました。

後者は、11月中旬の土曜日に一般公開で行われる「商工祭」という文化祭において、PTAが昼食時に食事の場を提供するというものです。30名のクラス役員の方以外にも参加を呼びかけ、50名近い人数の協力を得て実施されます。



翌年の運転資金が確保でき、採算が取れば良いとの考えで、ちよつと贅沢な食材も使って美味しいと言ってもらえるものを提供するようになっています。販売するものの一つは、「周南ラーメン」で、これは本校生徒が業者とタイアップして商品開発したもので、麺と出汁に特別な工夫がしてあり、リピーターの方が多く訪れます。もう一つは、スペイン風海鮮焼きめし「パエリア」で、大きな鍋でエビやイカなどを贅沢に使って作り上げます。当日は、本物のシェフが来校してくださり、目の前で調理を指導してくださるので、参加者は感激して大いに盛り上がります。三つ目は、「寿屋珈琲」です。「寿屋」徳山本舗使用のコーヒーメーカーを実際に借りてきて、お店で飲む本格コーヒーを味わって頂きます。昨年度は、学校行事の調整の都合で商工祭が12月初旬の寒い時期に行われたので、飛ぶように売れました。コーヒー販売の場では合わせて、「リサイクルバザー」も行っており、掘り出し物を求めて、遠方から来られる人もいます。こうして、前日の準備から片付けまで嵐のような

時間を過ごしたら、夜は任意参加での打ち上げを駅近くの居酒屋で行い、遅くまで盛り上がります。

「子どものより良い成長」を 軸に据えて

本校では、専門高校では珍しく、早くからエアコンを設置していました。これも、PTAの取り組みで成立したものです。昨年からの夏の冷房だけでなく、冬の暖房もエアコンでまかなうことに決めて、生徒の学ぶ環境がより良いものとなるようにしています。これらのことは、2ヶ月に1回ぐらいのペースで行われる本部役員会で、校長先生、教頭先生、事務長先生、総務部のPTAご担当の先生方とお互いに率直に話し合える伝統ができあがっていることによるものが大きいと思っています。子どものより良い成長を軸に据えて、お互いの立場を尊重しながら話し合って練り上げてゆけば良い知恵も生まれ、成果もあがってゆくということを実感できる良い経験をさせて頂きました。また、この度徳山商工で会長職を含め5年間並びに県高P連副会長として2年間、学校行事や県高P連の大会運営に携わる中で、徳山商工高等学校が第69回全国大会で団体表彰を受賞し、個人としても全国表彰を受賞いたしましたことにも深く感謝申し上げます。この紙面を借りてお礼を述べさせていただきます。ありがとうございました。



9月12日（木）萩高校において「高校生熟議2019」（主催：萩高校・萩高校PTA、後援：山口県公立高等学校PTA連合会）が開催されました。「150年後まで持続可能な輝く萩シティを築くために何ができるか？」というテーマについて高校生の立場で「何ができるか」を考えることを通じて、生徒たちのコミュニケーション能力を育み主体的思考力や社会参画意識

を高めるということを目的の一つとしています。第2学年生徒140名が20班に分かれ、代表生徒による全体進行及び各班ファシリテータの進行によりテーマについて課題や問題点、そして解決策や対応策について話し合いながら取組の企画書を作成し、その後各グループの発表が行われました。当日は保護者、教育委員会、他校教職員・PTA役員、市関係者等多くの参加者があり、グループ発表後は当日教育講演会で講演をされた藻谷浩介様（徳山高校・東京大学卒業、日本総合研究所主席研究員）及び守永孝PTA会長の講評で締めくくられ、たいへん有意義な熟議となりました。なお、萩高校での開催は昨年に続いて4回目となります。

また、西京高校においても11月12日（火）に5年連続の「高校生熟議2019」が開催されます。

今後、多くの学校において高校生熟議が開催されますように検討をお願いします。なお、熟議に関する問い合わせにつきましては、高P連事務局までお願いします。



令和元年度

「高校生熟議2019」萩高校開催



2019年度 災害負傷状況

(2019年9月末日現在)

運動種別件数

種別	件数
野 球	14
サッカー・フットサル	7
バ ス ケ	9
柔 道	1
テ ニ ス	2
ハ ン ド ボ ー ル	3
バ ド ミ ン ト ン	3
陸 上	1
ラ グ ビ ー	1
そ の 他	2
計	43

傷病見舞金 額別

見舞金	件数	合計額
¥10,000	12	¥120,000
¥20,000	5	¥100,000
¥30,000	3	¥90,000
¥40,000	5	¥200,000
¥50,000	24	¥1,200,000
計	49	¥1,710,000

	件数	合計額
障害見舞金	0	¥0
死亡見舞金	0	¥0
香 料	0	¥0
計	0	¥0

学校管理下状況件数

発生時	件数
授 業	6
部 活	36
登 下 校	4
学 校 行 事	2
そ の 他	1
計	49

部位別件数

部位別	件数
骨折(腰椎分離症含む)	25
脱臼	3
関節唇損傷・断裂	1
半月板損傷	4
靱帯損傷	8
靱帯断裂	5
半月板断裂	1
打撲傷・挫傷	6
捻挫	9
脳挫傷	3
軟骨損傷・炎症	2
蜂窩織炎	0
アキレス腱断裂	0
ヘルニア・腰痛症	0
関節炎・関節症	1
他	17
計	85

(重複しています。)

各地区別連絡協議会開催日

7	6	5	4	3	2	1
主 管 校	主 管 校	主 管 校	主 管 校	主 管 校	主 管 校	主 管 校
長北地区 (7月19日)	下関地区 (8月2日)	長南地区 (7月5日)	山防地区 (7月26日)	周南地区 (7月26日)	柳井地区 (7月26日)	岩国地区 (6月20日)
大津緑洋高等学校	下関中等教育学校 田部高等学校	宇部高等学校 美祢青嶺高等学校	山口高等学校	徳山高等学校 南陽工業高等学校	柳井高等学校	岩国商業高等学校

令和元年度 小中高PTA・校長会連絡協議会の開催予定

この協議会は小・中・高の連携協力を図る趣旨から企画され、今年度は県P連が主管担当となり11月29日(金)に開催します。

協議及び情報交換では「小中高PTA連携の成果と課題について」、「山口県PTA指導者研修会兼家庭教育リイダー研修会の在り方について」など協議・意見交換を図りたいと考えています。

今後も小・中学校PTAおよび高校PTA、小中高校長会の縦の連携強化を図ることが一層重要になってくるということをふまえ学校・家庭・地域の連携、協働の取組をさらに充実・活性化させていくための有意義な機会となるよう取り組んでいきます。

県教育長へ要望書提出について

- 地区別連絡協議会(7地区)及び常任委員会から提出された要望事項と昨年度までの要望事項を再検討し、次の内容について「令和2年度要望書」として10月28日(月)に銭廣会長、筑本副会長、金沖副会長、佐々木副会長から県教育委員会浅原教育長に提出し意見交換を行いました。
- 子どもたちの健全育成とPTA活動の活性化、促進について
 - 県立高校の再編整備とそれに伴う教育現場への配慮支援について
 - 通学支援について
 - キャリア教育の推進と進学支援・就職支援の推進について
 - 施設・設備の充実と安全な教育環境の整備について
 - 老朽化した施設設備の改修について
 - トイレの洋式化、バリアフリー化について
 - ICT環境の整備について
 - 部活動の充実・活性化について
 - 部活動指導員の配置について
 - 部活動の在り方に関する方針について
 - いじめの未然防止や相談・支援体制の充実について
 - 生徒通学時の安全確保等について

全高P連賠償責任保障制度

- ☆ 掛け金
生徒一人当たり 400円

見舞金給付事業

- ☆ 傷病見舞金
補償期間 4月1日～翌3月31日
見舞金負担金 全日制 300円
定時制 150円
- 被保険者
*生徒(日本スポーツ振興センターの決定に基づき給付)
見舞金 (最高5万円)
香料 3万円
*保護者(PTA活動中のみ)
入院見舞金 最高3万円
香料 3万円

- ☆ 障害見舞金 10万円

- ☆ 死亡見舞金 10万円

保険金請求、
忘れていませんか？

今からでも
ご請求できます！！

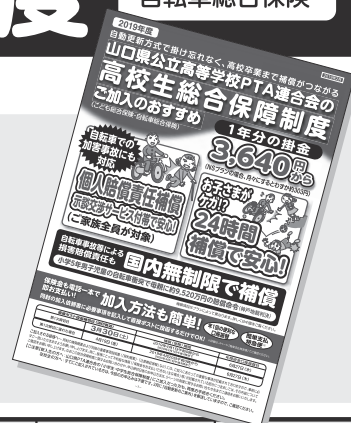
任意加入

山口県公立高等学校PTA連合会 高校生総合保障制度

こども総合保険
自転車総合保険

大切なお子さまのさまざまな危険にそなえます。

- 学校内外、土・日全てを含む1年365日24時間補償。(学校管理下動産補償を除く) 個人の安心のための総合保障制度です。
- 個人賠償責任補償は、国内無制限プランを採用しました。
- 自転車事故でのケガの補償が、すべてのプランで充実しています。またケガの治療費を実費で補償できるプランが好評です。
- 簡単支払特急便でスピーディーなお支払い。ケガで保険金10万円以下なら電話一本で、請求できます。
- 1回の加入手続きで高等学校卒業まで自動更新されます。



個人賠償責任補償	育英費用補償	ケガの医療費実費補償	ケガの補償	学校管理下動産補償	被害事故補償	病気の補償
お子さまやそのご家族が、誤って他人にケガをさせてしまったり、他人の物を壊してしまい、法律上の損害賠償責任を負った場合に補償します。	扶養者の方がケガをし、事故の日から180日以内に死亡または所定の重度後遺障害を負った場合に補償します。	お子さまがケガをして医師の治療を受けた場合に実際に負担した治療費用、医師の指示による差額ベッド代や入院時の交通費などを補償します。(細菌性食中毒補償を含む。)	ケガで入院したり、通院した場合の日額補償、所定の手術を受けた場合の手術補償、後遺障害や万一の死亡補償まで幅広く補償します。(熱中症補償、細菌性食中毒補償を含む。)	学校の授業中、登下校中に、お子さま本人が携行している身の回り品が盗難にあたり、破損した場合に補償します。	お子さまが、ひき逃げ事故や誘拐等の犯罪行為により、死亡または所定の重度の後遺障害が生じた場合に補償します。	・病気死亡見舞金 ・疾病入院医療保険金 ・疾病入院療養一時金 ・疾病手術医療保険金 お子さまが補償開始後に発病した病気で1日を超えて入院した場合などに補償します。

※この保障制度のパンフレットは、毎年ご進級・新入学時に学校で配付されます。※具体的な補償内容は、プランごとに異なります。※詳しくはパンフレットをご覧ください。
※上記、補償内容については、主な場合を記載しています。具体的な内容については、下記、「お問合せおよび相談窓口」へお問い合わせください。

お問合せおよび相談窓口

制度内容・加入手続き、事故についてのご相談、住所変更、転校など

土・日・祝日・年末年始を除く(月～金 午前9:30～午後5:30)

☎0120-714-855
☎0120-504-551

加入者サービス

●ハロー健康相談24

電話による健康・医療・ストレスに関するアドバイスを行います。

●セカンドオピニオンアレンジサービス

お子さまの病状・症状の相談をお受けします。

●メンタルケアカウンセリングサービス

心の専門家による面談カウンセリングをご提供します。

※上記サービスは、補償期間(保険期間)中、引受保険会社がディーバック株式会社に委託してご提供します。今後、予告なく変更・中止される場合があります。

山口県公立高等学校PTA連合会
〒753-0072 山口市大手町2-18 山口県教育会館内
TEL 083 (923) 4761 FAX 083 (923) 4785

制度引受保険会社

AIG損害保険株式会社

中国・四国地域事業本部 広島営業支店

〒730-0011 広島市中区基町12-6

富士火災広島ビル TEL 082 (535) 6010

受付時間: 午前9:00～午後5:00 (土・日・祝日・年末年始を除く)

(取扱代理店) NOSCOインシュアランスサービス(株)

TEL 082 (228) 1222

受付時間: 午前9:30～午後5:30 (土・日・祝日・年末年始を除く)

この広告は制度商品の概要をご案内したものです。詳細は「お問合せおよび相談窓口」までお問い合わせください。

[承認番号 S-190367 有効期限 2020-03]

各校PTAの構成員である

先生方のための補償制度

山口県公立高等学校PTA連合会 教員総合補償制度

主な補償内容 (2019年4月現在の内容です。)

- ① 先生方の職務遂行に起因する法律上の損害賠償責任を補償(施設所有(管理)者賠償責任保険)
- ② 先生方の個人生活に起因する法律上の損害賠償責任を補償(普通傷害保険個人賠償責任補償特約)
- ③ 先生方のケガの24時間補償(普通傷害保険)

詳しくは下記取扱代理店・扱者

フリーダイヤル 0120-084-025

「教員総合補償制度係」までお問い合わせください。

制度引受
保険会社

AIG損害保険株式会社 中国・四国地域事業本部(広島営業支店)

〒730-0011 広島市中区基町12-6 富士火災広島ビル TEL 082 (535) 6010

受付時間: 午前9:00～午後5:00 (土・日・祝日・年末年始を除く)

取扱代理店・扱者 NOSCOインシュアランスサービス株式会社

〒730-0013 広島市中区八丁堀14-10 TEL 0120-084-025

受付時間: 午前9:30～午後5:30 (土・日・祝日・年末年始を除く)

[承認番号 D-003833 (2020-05)]